

ヨハネ 5・黙想質問

イエスは安息日に男を癒やした - ヨハネによる福音書 5:1-15

1 その後、ユダヤ人の祭りがあって、イエスはエルサレムに上られた。2 さて、エルサレムには、羊の門の近くに、ヘブル語でベテスダと呼ばれる池があって、五つの回廊がついていた。3 その中に大ぜいの病人、盲人、足のなえた者、やせ衰えた者たちが伏せていた。

5 そこに、三十八年もの間、病気にかかっている人がいた。6 イエスは彼が伏せているのを見、それがもう長い間のことなのを知って、彼に言われた。「よくなりたいか。」7 病人は答えた。「主よ。私には、水がかき回されたとき、池の中に私を入れてくれる人がいません。行きかけると、もうほかの人が先に降りて行くのです。」

8 イエスは彼に言われた。「起きて、床を取り上げて歩きなさい。」9 すると、その人はすぐに直って、床を取り上げて歩き出した。ところが、その日は安息日であった。

10 そこでユダヤ人たちは、そのいやされた人に言った。「きょうは安息日だ。床を取り上げてはいけない。」11 しかし、その人は彼らに答えた。「私を直してくださった方が、『床を取り上げて歩け』と言われたのです。」12 彼らは尋ねた。「『取り上げて歩け』と言った人はだれだ。」

13 しかし、いやされた人は、それがだれであるか知らなかった。人が大ぜいそこにいる間に、イエスは立ち去られたからである。

14 その後、イエスは宮の中で彼を見つけて言われた。「見なさい。あなたはよくなった。もう罪を犯してはなりません。そうでないともっと悪い事があなたの身に起こるから。」15 その人は行って、ユダヤ人たちに、自分を直してくれた方はイエスだと告げた。

癒やされた人は、どのような罪を犯していたと思いますか。

なぜユダヤ人指導者たちは、イエスが安息日にこの男を癒したことに腹を立てたのでしょうか。

なぜこの人は、自分を癒したのはイエスであるとユダヤ人たちに言ったのでしょうか。

イエスは御父との関係について説明しています。 - ヨハネによる福音書 5:16-20

16 このためユダヤ人たちは、イエスを迫害した。イエスが安息日にこのようなことをしておられたからである。17 イエスは彼らに答えられた。「わたしの父は今に至るまで働いておられます。ですからわたしも働いているのです。」18 このためユダヤ人たちは、ますますイエスを殺そうとするようになった。イエスが安息日を破っておられただけでなく、ご自身を神と等しくして、神を自分の父と呼んでおられたからである。

19 そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。子は、父がしておられることを見て行う以外には、自分からは何事も行うことができません。父がなさることは何でも、子も同様にを行うのです。20 それは、父が子を愛して、ご自分のなさることをみな、子にお示しになるからです。また、これよりもさらに大きなわざを子に示されます。それは、あなたがたが驚き怪しむためです。

イエスは 17 節で「私の父は今もなお働きおられ、私も働いている」と言っています。この言葉は、あなたの人生と奉仕に対する見方をどのように変えるものでしょうか。

19-20 節から、イエスの宣教活動の主な原則を要約して下さい。
私たちはどのようにしてイエスの模範に従うことができるでしょうか。

イエス様はすべての人を裁かれる - ヨハネ 5:21-30

21 父が死人を生かし、いのちをお与えになるように、子もまた、与えたいと思う者にいのちを与えます。22 また、父はだれをもさばかず、すべてのさばきを子にゆだねられました。23 それは、すべての者が、父を敬うように子を敬うためです。子を敬わない者は、子を遣わした父をも敬いません。

これらの聖句は、イエスと御父の関係について何を教えているでしょうか。

24 まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです。25 まことに、まことに、あなたがたに告げます。死人が神の子の声を聞く時が来ます。今がその時です。そして、聞く者は生きるのです。26 それは、父がご自分のうちにいのちを持っておられるように、子にも、自分のうちにいのちを持つようにしてくださったからです。27 また、父はさばきを行う権を子に与えられました。子は人の子だからです。

これらの聖句は、いのちと死について何を教えているでしょうか。

28 このことに驚いてはなりません。墓の中にいる者がみな、子の声を聞いて出て来る時が来ます。29 善を行った者は、よみがえっていのちを受け、悪を行った者は、よみがえってさばきを受けるのです。30 わたしは、自分からは何事も行うことができません。ただ聞くとおりにさばくのです。そして、わたしのさばきは正しいのです。わたし自身の望むことを求めず、わたしを遣わした方のみこころを求めるからです。

最後の裁きについての私たちの理解は、私たちの現在の生き方にどのような影響を与えるべきでしょうか。

イエスについての証言 - ヨハネによる福音書 5:31-40

31 もしわたしだけが自分のことを証言するのなら、わたしの証言は真実ではありません。32 わたしについて証言する方がほかにあるのです。その方のわたしについて証言される証言が真実であることは、わたしが知っています。

33 あなたがたは、ヨハネのところに人をやりましたが、彼は真理について証言しました。34 といっても、わたしは人の証言を受けるものではありません。わたしは、あなたがたが救われるために、そのことを言うのです。35 彼は燃えて輝くともしびであり、あなたがたはしばらくの間、その光の中で楽しむことを願ったのです。

36 しかし、わたしにはヨハネの証言よりもすぐれた証言があります。父がわたしに成し遂げさせようとしてお与えになったわざ、すなわちわたしが行っているわざそのものが、わたしについて、父がわたしを遣わしたことを証言しているのです。37 また、わたしを遣わした父ご自身がわたしについて証言しておられます。あなたがたは、まだ一度もその御声を聞いたこともなく、御姿を見たこともありません。38 また、そのみことばをあなたがたのうちにとどめてもいません。父が遣わした者をあなたがたが信じないからです。

ユダヤ人指導者たちは、なぜその証言を受け入れず、イエスを信じなかったのでしょうか。

神の御言葉を自分に留めていますか。あなたは聖書を通して、どのようにイエスの人生を経験していますか。

イエスは聖書を通して命を与える - ヨハネによる福音書 5:39-40

39 あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思うので、聖書を調べています。その聖書が、わたしについて証言しているのです。40 それなのに、あなたがたは、いのちを得るためにわたしのもとに来ようとはしません。

39-40 節によると、聖書を学ぶ目的は何でしょうか？ 聖書を通してイエスのもとへ行き、イエスから豊かな命を受け取るにはどうすればよいのでしょうか？

人々から称賛されることを求めるか、神から称賛されることを求めるか - ヨハネによる福音書 5:41-47

41 わたしは人からの栄誉は受けません。42 ただ、わたしはあなたがたを知っています。あなたがたのうちには、神の愛がありません。43 わたしはわたしの父の名によって来ましたが、あなたがたはわたしを受け入れません。ほかの人がその人自身の名において来れば、あなたがたはその人を受け入れるのです。44 互いの栄誉は受けても、唯一の神からの栄誉を求めないあなたがたは、どうして信じることができますか。

45 わたしが、父の前にあなたがたを訴えようとしていると思っはなりません。あなたがたを訴える者は、あなたがたが望みをおいているモーセです。46 もしあなたがたがモーセを信じているのなら、わたしを信じたはずです。モーセが書いたのはわたしのことだからです。47 しかし、あなたがたがモーセの書を信じないのであれば、どうしてわたしのことばを信じるでしょう。」

神ではなく人々から称賛されることを求めるなら、その結果はどのようなになるでしょうか。

イエスについて記したモーセの書物を持っていたにもかかわらず、なぜユダヤ人指導者たちはイエスを信じなかったのでしょうか。